［標準様式例７－３］

随意契約結果及び契約の内容

業　務　の　名　称	阿武隈川上流管内河川監理合理化検討業務
業　務　概　要	・計画準備　１式 ・河川の状況把握　１式 ・堤防等河川管理施設等の二次評価（案）・総合的な評価（案）　１式 ・モニタリング計画案の更新及び変更　１式 ・河川管理、出水対応資料とりまとめ　１式 ・対策工法の検討等　１式 ・関係業務等との合同打合せの事務局　１式 ・出水時等対応　１式 ・地元調整等　１式 ・報告書作成　１式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 東北地方整備局福島河川国道事務所長　丸山　和基 福島県福島市黒岩字榎平36番地
契　約　年　月　日	令和5年4月3日
契　約　業　者　名	（株）建設環境研究所　東北支社
契約業者の住所	宮城県仙台市宮城野区榴岡四丁目３番１０号
契　約　金　額	27,588,000円（税込み）
予　定　価　格	27,588,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	別添のとおり
業　務　場　所	福島河川国道事務所管内
業　種　区　分	土木コンサル
履行期間（自）	令和5年4月1日
履行期間（至）	令和6年3月31日
備　考	入札情報サービス（PPI） https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

契　約　理　由　書

業　　務　　名　：　阿武隈川上流管内河川監理合理化検討業務

契 約 の 相 手　：　株式会社建設環境研究所
住　　所　東京都豊島区東池袋2丁目23番2号
電話番号　03-3988-1818

契　約　理　由　：

本業務は、河川の維持管理を適切かつ適正に遂行するとともに河川監理を合理的に実施することを目的として、堤防等河川管理施設及び河道の点検結果等の状況把握結果をもとに、変状等の評価及び変状等が進行する可能性や河川管理に与える影響等について検討し、河川の有すべき治水上の機能確保に必要な河川管理施設監理（案）の作成等を行うものである。

本業務の実施にあたっては、阿武隈川上流の特性を熟知すると共に、堤防の維持管理についての高度な知識と豊富な経験が必要不可欠であることから、簡易公募型（拡大型）プロポーザル方式により技術提案書の提出を求めたものである。

技術提案は、（株）建設環境研究所から提出され、提案内容を審査・評価したところ、技術者の経験、能力等に関する必要要件を満足しているほか、評価テーマに対する技術提案において説得力のある提案がなされていることから、本業務を履行するに十分な技術力と能力が認められたため、福島河川国道事務所建設コンサルタント選定委員会において特定されたものである。

以上から、会計法第29条の3第4項並びに予決令第102条の4第3号の規定に基づき、上記企業と契約を締結するものである。

令和５年　３月20日